

30年7月「学校評価」生徒・保護者・教職員アンケート

今回は、望ましい回答3・4が少なかったと思われる平均が3.00を下回る項目に注目してみました。あわせて、半年前の結果とも比較しています。「卒業」によって生徒集団・保護者集団が変わっていますので必ずしも、数値の変化=人々がどうなっていったかとは言えず、学校全体の傾向がどうかを表すものと考えています。)

生活面										学習面										
生徒アンケート設問	つ自分がで進んでる	る学校真剣でに取り組んでは、いいさ	まうつのことには、しながいたる。りことしてをし	言其他うつのかに、嫌がいたる。りことしてをし	りくを授で、し業き学習に習り遅いのする準る。備こりはと、しは忘つなれか物	ち友がだちあるを。大切にする気持	しと直学級のなどいのばる。らや～はずに員掃除会當ち活番やとな日	ある。家族とよく話をする方で	ての授い人の中。話は、先生らやとクラーイス	いりり授いるで組業。集ん中でに各自が取組、題めひと取	意ど授業は中言つ自話して分し合いらる。進活でな	り朝取読書組めり。授業は中言つ自話して分し合いらる。進活でな	家庭学習など、宿題や自主的な	家庭をする時間でゲームを決めてSNSでいる。	家庭で計画的に学習していむけ家庭をする。定期的にテストで家庭で計画的に学習していむけ家庭をする。					
上:30年7月 下:30年2月																				
3.28	3.37	2.94	3.09	3.68	3.54	3.21	3.26	3.20	2.81	3.23	2.64	2.05	2.56							
全体	3.16	3.37	2.83	3.09	3.55	3.44	3.23	3.19	3.09	2.72	2.92	2.73	2.03	2.61						
増減	0.12	0.20	0.12	0.09	0.12	0.12	0.09	0.07	0.14	0.20	0.21	0.08	0.20	0.21	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	

○「他の人に嫌がることを言ったりしてしまってはいけない」がやや増えたのは望ましい傾向と言えますが、今後も指導を続ける必要がありそうです。単に「その言動はいけません」と指導するだけではなく、「なぜ自分は他人の嫌がることを言ったりしてしまったんだろう」といった内面の気づきを促す働きかけを!ないと、本人の向上に結びつかないと思います。

○「授業中の話し合い活動などでは自分から意見を言っている」が微増なのは望ましいですが、これからも働きかけを続ける必要がありそうです。単に「もっとすんぐで言なさい」と言うだけでなく、すんぐで行うためには自分の考えをもつ必要があるので、「言うことをつくる。考える」時間を、教員が話し合いの前に設ける必要と思っています。

○家庭学習(テストに向けた学習を含む)のすすめやSNSの制限については、ご家庭で「ケータイ・スマホの親子の約束づくり」や「勉強しやすいように雰囲気をもっていく」工夫が必要だと思います。高価な機材はたとえ「子のために買った」ものであっても、保護者の所有物とお考えいただき、使い方については遠慮なくご指導くださるようお願いします。

○「中学校ではあまり宿題が出来ない」と言われてきましたが、以前に比べると「家でやっておくこと」の指摘は増えています。

「わが子が、学習の準備をしっかりできるように働きかけている」がさらに低くなりました。小学生時代、「ランドセルの中身は前の晩に用意」のお声かけをされていたことは、同様のお声かけを今しばらくは続けてくださるのがありがたいです。

○授業中や朝読書の指導は学校がすべきことですが、ご家庭でも話題にしていただくことで、子どもたちのがんばりへの「認め」にもなります。支える意味でお願いいたします。

○今のお評価・評定では、テスト以外の要素(提出物や実演・実技)も大きく関わりますが、定期テストのように「まとめた量の中身を試す」テストに対応する構え・力は、進学だけでなく、社会に出るときや出てからも、自分の生きる道を手に入れるために鍛え持っておくに越したことはありません。ご家庭でも十分な準備ができるような雰囲気づくりをお願いします。

○ゲームやSNSについては上記のとおりです。

○教員が「家族の話を聞く」ことに遠慮を感じるのはある意味自然でもありますが、お子さんの理解のために分かっておきたいこともありますので、今後も信頼関係を築くことを中心に、必要に応じた生徒との会話を心がける方向で考えます。

○教員が、ご家庭での学習・ゲーム・SNSなどの行動への指導をやや控えている結果になっていますが、SNSによって自他が被害者・加害者となる事案もありますので、教員が注意を促す機会をもつ方向で考えます。